

**単元名 篠笛の基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう**
**配当時間 3時間**

- 単元の目標** (1) 篠笛の音色と奏法との関わりを理解するとともに、創意工夫を生かした表現で演奏するためのかまえ方や音の出し方、運指などの技能を身に付けることができる。
- (2) 篠笛の音色と奏法との関わりを理解し、かまえ方や音の出し方、運指などの技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫することができる。
- (3) 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組もうとする。

**標準的な展開例**

10260303\_001

**【教材名】** たこたこあがれ ◆ ひらいたひらいた ◆ さくらさくら (P. 18～P. 23)

**【準備等】** タブレット

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 篠笛の各部の名称や姿勢やかまえ方を知り、低い音域「呂」, 「六」の運指で音の出し方を身に付ける。</p> <p>★篠笛を吹いてみよう。</p> <p>○篠笛の各部の名称や、ふさわしい姿勢、かまえ方を知る</p> <p>○低い音域「呂」, 「六」の運指で音の出し方を身に付ける。</p> <p>2 低い音域「呂」, 「五・六」の運指、さし指（指打ち）の奏法を身に付け、短い旋律を表現する。</p> <p>★「たこたこあがれ」を演奏してみよう。</p> <p>○P. 20「たこたこあがれ」を演奏する。</p> <p>○注意点などをワークシートにまとめる。</p> <p>3 高い音域「甲」や新しい音を用いて演奏する。</p> <p>★「ひらいたひらいた」「さくらさくら」を演奏してみよう。</p> <p>○P. 20「ひらいたひらいた」またはP. 21「さくらさくら」を表現する。</p> <p>○発表後に注意点などをワークシートにまとめる。</p>	<p>・P. 18「各部の名称」やP. 19「姿勢とかまえ方」を参照させる。</p> <p>・タブレットでまなびリンクを活用してP. 19「吹いてみよう」を確認し、音を出させる。</p> <p>【評】篠笛の音を出す活動を通して、「技能」を評価する。</p> <p>・音の出し方、運指、さし指（指打ち）において注意点をワークシートにまとめさせる。</p> <p>【評】「たこたこあがれ」を演奏し、注意点を考えてまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・音の出し方、運指、さし指（指打ち）において注意点をワークシートにまとめさせる。</p> <p>【評】篠笛を演奏する上での注意点をワークシートにまとめる活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

**【 備 考 】**

篠笛のかまえ方や手孔（指孔）の塞ぎ方、唇の形（引き方）などの基本的な奏法を、まなびリンクを参照しながら身に付ける。「たこたこあがれ」ではさし指（指打ち）を身に付け、「ひらいたひらいた」でこれらの技能を生かして表現する。「さくらさくら」では、新しい音を加え篠笛の音色や響きを味わいながら表現を工夫する。

**【共通事項】** 音色・速度・旋律